

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
国語	現代文B	3	英・人・理	必修	2
使用教科書・副教材等	「現代文B」 (教育出版)				
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 近代以降のさまざまな文章を読み解く能力を高める。 言語に対する関心を高め、自己を的確に表現できるようになる。 				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期末 考查まで	随想 「同情トイフコト」 小説 「舞姫」	<ul style="list-style-type: none"> 随筆の特質を理解し、読解力を向上する。 「同情」という言葉の意味を読み取り、人間の生および文学における想像力について考える。 「近代文学の古典」と位置づけられる優れた作品をとおして、人間としての生き方、さらに、恋愛のあり方などという普遍的な命題についての考えを深める。 作中人物の行動、心理、性格を深く読み取り、作者のものの見方、感じ方を的確に理解する。
二学期中 間考查まで	評論 「欲望と資本主義」	<ul style="list-style-type: none"> 論理的な文章の読解力を高め、論理的な思考力、表現力を養う。 資本主義やアイデンティティといった、現代社会が直面する問題について認識を深め、自己の問題意識を明確にする。 筆者のものの見方や考え方に触れようとする態度を身に付ける。
二学期末 考查まで	評論 「戦いの本質とは何か」 大学入試対策	<ul style="list-style-type: none"> 評論文の読解をとおして、現代社会の現状を客観的に分析する思考を養う。 戦争が起きる背景について理解を深め、よりよい未来に向けた自己・集団のあり方について考える。 現代文の実践的な読解方法を身に付ける。
学年末 考查まで	大学入試対策	<ul style="list-style-type: none"> 現代文の実践的な読解方法を身に付ける。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況</p> <p>【話す・聞く能力】 授業への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、ワークシート</p> <p>【書く能力】 ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査</p> <p>【読む能力】 授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査</p>	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
国語	古典A	3	人文・英語	選択	2
使用教科書 副教材等	古典A (東京書籍)				
学習目標	古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読むことによって、我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	古文 物語 『伊勢物語』月やあらぬ 漢文 故事と寓話 夢為胡蝶『莊子』 古文 物語 『大和物語』安積山 漢文 故事と寓話 直躬 古文 評論・随筆 『風姿花伝』世阿弥	<ul style="list-style-type: none"> 歌に込められた心情をまとめ、自分の考えでその心情に対する感想を持つ。 古代の中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。 歌物語の特徴や各物語についての知識を身に付け、和歌を通して、登場人物の心情や行動について考える。 古代の中国の思想を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。 古人のものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間の生き方やあり方について考察させる。
二学期 中間 考查まで	古文 物語 『松浦宮物語』 漢文 漢の高祖と韓信・張良 国士無双 良薬苦口『史記』	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな物語作品を読み、登場人物の心情や行動を考えさせ、古典の言葉が現代とどのようにつながっているのかを理解する。 古代の中国の人間の生き方やあり方についての思索を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。
二学期末 考查まで	古文 物語 『源氏物語』螢火 漢文 孔子と子路 嗟乎、由死矣 古文 歴史 『栄花物語』 伊周・隆家の配流	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな物語作品を読み、登場人物の心情や行動を考え、古典の言葉が現代とどのようにつながっているのかを理解する。 古代の中国の人間の生き方やあり方についての思索を通して、人間の生き方やあり方についての思索を深める。 歴史上の人物、出来事がどのように語られているのかを読み取らせる。
学年末 考查まで	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> 進路にあった問題の演習をする。
評価方法	関心・意欲・態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況 話す・聞く能力…授業への参加姿勢や発表や音読の態度 書く能力…ノートへの書き込み、定期考査 読む能力…授業の発問への反応、ノートへの書き込み、定期考査 知識理解…小テスト、定期考査	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	地理 B	3	人文系	選択	4
使用教科書 ・副教材等	新詳地理B（帝国書院）、22サクシード（啓隆社） 詳解現代地図（二宮書院）、新詳地理資料 COMPLETE2022（帝国書院）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	2 資源と産業 (7) 世界を結ぶ交通・通信 (8) 現代世界の貿易と経済圏 3 人口、村落・都市 (1) 世界の人口 (2) 人口問題 (3) 村落と都市 (4) 都市・居住問題 4 生活と文化、民族・宗教 (1) 生活文化 (2) 民族と宗教 (3) 現代世界の国家 (4) 民族・領土問題	<ul style="list-style-type: none"> 交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえる。 現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。 世界の人口について、人口構成や人口転換を考察する。 人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。 村落と都市について、その立地条件や発達の背景、村落や都市がもつ機能と人間生活のかかわりを考察する。 都市・居住問題について、世界の都市・居住問題を大観し、発展途上国と先進国のそれぞれについて、その要因や対策をとらえる。 世界の衣食住について、地域的差異があることに気づく。 民族と言語、宗教の分布や特徴について考察する。 国家と領域・国境のあり方、国家と主権の考え方を考察する。 民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、そのおもな原因と共生に向けた取り組みを考察する。
二学期 中間 考查まで	5 現代世界の諸地域 (1) アジア諸地域 (2) アフリカ (3) ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> アジア諸地域について、自然環境、歴史・文化と人口、農業、工業、という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 アフリカについて、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化とほか地域との結びつきを考察する。 ヨーロッパについて、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、今後の動向という多様な事象を項目ごとに整理し考察する。
二学期 期末 考查まで	(4) アングロアメリカ (5) ラテンアメリカ (6) オセアニア	<ul style="list-style-type: none"> アングロアメリカについて、自然環境、移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響のあるアメリカ合衆国という多様な事象を項目ごとに整理して考察する。 ラテンアメリカについて、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。 オセアニアについて、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。
学年 末 考查まで		<ul style="list-style-type: none"> 地理Bの総括として、学習の深化を図るために、任意の国について調べ学習を行ない、レポートにまとめる。
評価 方法	【関心・意欲・態度】 授業態度・ノート整理等 【思考・判断・表現】 定期考查・発表 【資料活用の技能】 授業態度・発表 【知識・理解】 小テスト・定期考查	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	地理探究	3	人文系	選択	2
使用教科書 ・副教材等	自校教材（本校地理歴史科）、22サクシード（啓隆社） 詳解現代地図（二宮書院）、新詳地理資料 COMPLETE2022（帝国書院）				
学習目標	基本的学習の再編と深化を図り、身近な地域や世界の諸地域を多角的に考察する。それを通して地理への興味関心を高めるとともに、地理的なものの見方考え方を身に付け、その有用性に気付く。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 末 考 査 ま で	1 自然環境の概要 (1) 世界の地形 (2) 世界の気候 (3) 環境問題 2 資源と産業の概要 (1) 世界の農林水産業 (2) 世界のエネルギー・鉱産資源	<ul style="list-style-type: none"> 地形・気候環境について、その基礎的知識を理解し、成因について説明できる力を養成する。 いくつかの国を事例的に取り上げ、比較させることにより一般的共通性や特殊性を考える。
二学期中 間 考 査 ま で	(3) 世界の工業 (4) 交通・通信、貿易 3 人口・村落・都市の概況 (1) 人口問題 (2) 村落と都市 4 生活文化、民族・宗教の概況 (1) 民族・宗教 (2) 領土問題、民族紛争	<ul style="list-style-type: none"> いくつかの国を事例的に取り上げ、比較させることにより一般的共通性や特殊性を考える。 都市・村落の機能や結びつきを地域的特色と人々の生活に関連付けて理解する。 地域的差異と画一化の考察を元に、生活文化について関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、理解する。
一二期 期 末 考 査 ま で	5 現代世界の地誌的考察 (1) アジア地域 (2) ヨーロッパ地域 (3) 南北アメリカ地域	<ul style="list-style-type: none"> 諸地域について、形式的な地域区分にもとづき、その歴史、文化、地形、産業など特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。
学 年 末 考 査 ま で	(4) アフリカ、オセアニア地域	<ul style="list-style-type: none"> 諸地域について、形式的な地域区分にもとづき、その歴史、文化、地形、産業など特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。
評 価 方 法	【関心・意欲・態度】 授業態度・ノート整理等 【思考・判断・表現】 定期考査・発表 【資料活用の技能】 授業態度・発表 【知識・理解】 小テスト・定期考査	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	日本史B	3	英語・人文	選択	4
使用教科書 副教材等	詳説日本史B[改訂版]（山川出版社）、図説日本史通覧（帝国書院）、 進研WINSTEP日本史B[三訂版]（ラーズ）、要点整理ゼミナール日本史（浜島書店）				
学習目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野を取り入れて総合的に考察させ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い国民としての自覚と国際社会に対して能動的に参加できる日本人の資質を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期末 考查まで	第3部 近世 第6章 幕藩体制の確立 第7章 幕藩体制の展開 第8章 幕藩体制の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・武断政治から文治政治への幕政の方針転換が、どのような政治的社会的条件のもとでなされたのか、その背景を明らかにする。 ・幕政は平和と秩序を実現させ、町人の経済的・文化的活動は活発化し、元禄文化を開花させたことを理解する。 ・本百姓体制は崩れ、幕藩体制が動揺するなか、幕府は三大改革を実施したが根本的な解決には至らず、19世紀には欧米列強の接近という内憂外患の危機があったことを理解する。
二学期中 間考查まで	第8章 幕藩体制の動揺 第4部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の開国と幕藩体制の崩壊を、欧米列強との関わりの過程で理解し、その歴史的意義を考える。 ・ペリー来航以降の内外情勢を捉え、明治初年の維新期に近代化への諸改革が一斉に着手されたこと、その後立憲政体の樹立に努め、後半は議会政治の定着と資本主義の確立、対外的には日清・日露戦争が展開された一連の流れを理解する。 ・条約改正と法典の整備を行い、近代国家体制の整備を急ぎつつ、対外的に国家の自主独立を求めたいきさつを理解する。 ・資本主義の発達の光と影を考察する。
一学期末 考查まで	第10章 二つの世界大戦とアジア 第11章 占領下の日本 第12章 高度成長の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・大正前期に起きた第一次世界大戦によって、日本は帝国主義列強の一員として国際政局に登場したが、満州事変、日中戦争、第二次世界大戦と太平洋戦争全面戦争へと突進する。この間、大正デモクラシーに代表される自由主義的な風潮が見られたものの、次第に軍国主義が国のすみずみにまで及んだことを理解する。 ・政党と官僚・軍部・藩閥との対立抗争、特に第一次護憲運動から第二次護憲運動に至るまでの流れを概観し、徐々に行き詰まりを見せていった政治と経済の動向を考察する。 ・文化の変遷を時代背景とともに理解する ・占領期に推し進められていった国内の民主化政策と1950年代初めに独立を回復していく動きを、東西冷戦の激化という国際政治の動向を踏まえながら理解する。 ・独立回復後の日本が、経済政策に重点を移すことによって長期にわたる高度経済成長を達成していった光の部分を理解するとともに、その後公害問題を始めとして社会にひずみが生じていった影の部分も考察する。
学年末 考查まで	第13章 激動する世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・1990年代の冷戦終結によって新しい世界情勢が生まれた同じ頃、経済成長が曲がり角をむかえた日本社会がどのように歩んできたのかを理解し、今後のわたしたちの社会の在り方について内外情勢を交えながら考察する。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 授業態度・ノート整理等</p> <p>【思考・判断・表現】 定期考查・発表</p> <p>【資料活用の技能】 授業態度・発表</p> <p>【知識・理解】 小テスト・定期考查</p>	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	日本史探究	3	英語・人文	選択	2
使用教科書 副教材等	自校教材（本校地理歴史科）				
学習目標	世界の中の日本を意識し、日本史の技能や知識を学習して身に付けさせるとともに日本史への興味・関心を喚起し、日本史研究に取り組む姿勢を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	原始・古代 <ul style="list-style-type: none"> 旧石器・縄文・弥生時代の概要 古墳時代の概要 奈良時代の概要 平安時代の概要 	<ul style="list-style-type: none"> 年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 外交史や諸外国の影響が具現化した文化史を連続して学習することにより、東アジアの中の日本を意識する。 年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 正確な知識を身に付ける。
二学期中 間考查まで	中世 <ul style="list-style-type: none"> 鎌倉時代の概要 室町・安土桃山時代の概要 近世 <ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の概要 	<ul style="list-style-type: none"> 年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 外交史や諸外国の影響が具現化した文化史を連続して学習することにより、東アジアの中の日本を意識する。 年表から当該時代を把握し、図表の活用に関する技能を養い、歴史の流れを読みとる。 正確な知識を身に付ける。
二学期末 考查まで	近代・現代 <ul style="list-style-type: none"> 明治時代の概要 大正時代の概要 	<ul style="list-style-type: none"> 年表から当該時代の概要を把握し、図表の活用に関する技能を養い、理解を深める。 教科書でテーマや項目ごとに学習した内容を、内閣を中心に再編集し、事件や事象等から時代背景を理解して、内閣の特徴や歴史上の必然性を考察するとともに、知識の定着を図り、歴史への興味関心を育む。 歴史の因果関係が捉えやすいテーマを選び、一連の歴史の流れを意識する。
学年末 考查まで	<ul style="list-style-type: none"> 昭和時代の概要 戦後の概要 	<ul style="list-style-type: none"> 年表から当該時代の概要を把握し、図表の活用に関する技能を養い、理解を深める。 教科書でテーマや項目ごとに学習した内容を、内閣を中心に再編集し、事件や事象等から時代背景を理解して、内閣の特徴や歴史上の必然性を考察するとともに、知識の定着を図り、歴史への興味関心を育む。 歴史の因果関係が捉えやすいテーマを選び、一連の歴史の流れを意識する。
評価方法	【関心・意欲・態度】 授業態度・課題提出状況 【思考・判断・表現】 定期考查・発表 【資料活用の技能】 授業態度・発表 【知識・理解】 小テスト・定期考查	

令和5年度 学習シラバス

教科 公民	科目 政治・経済	履修学年 3	コース 英語・人文	履修区分 選択	単位数 4
使用教科書 ・副教材等	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社） 最新図説 政経（浜島書店）、ニューコンパスノート政治・経済 2023（とうほう）				
学習目標	民主主義の本質に関する理解を深め、われわれを取り巻く様々な諸課題について、主体的に考察を深め、良識ある公民として必要な能力と態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 ・政治と法の機能 ・人権保障と法の支配 ・議会制民主主義と世界の政治体制 ・日本国憲法の基本原則 ・平和主義と自衛隊 ・基本的人権の保障と新しい人権 ・国会、内閣、裁判所の機能と人権保障 ・地方自治制度と政党政治 ・民主政治における世論の役割	<ul style="list-style-type: none"> 民主政治の本質を理解しながら、政治と私たちのかかわりについて理解する。 基本的人権の確立の過程を踏まえて、現代政治の特質について考察する。 日本国憲法の成立過程を踏まえて、三大原理について理解する。 日本国憲法下の政治機構について理解する。 国民主権という立場から望ましい政治のあり方や主権者としてのあり方について考察する。
二学期中間 考查まで	第2章 現代の国際政治と日本 ・国際社会と国際法 ・国際連合の組織と役割と国際協力 ・国際紛争と難民問題 ・日本の外交と国際平和への役割 第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 ・経済社会の発展 ・経済主体と経済活動 ・市場経済の機能と限界 ・経済成長と景気変動 ・物価の動き ・金融と財政のしくみとはたらき	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の国際政治の動きを理解し、冷戦終結の歴史的意義を踏まえ、平和な国際社会建設の方策を考える。 国際連合の機能と役割、問題点を理解する。 経済の基本的な概念や理論を理解する。 需要と供給の関係について正しく理解する。 基本的な用語を正しく理解すると共に財政の基本的なしくみや役割について理解する。
二学期期末 考查まで	<ul style="list-style-type: none"> 日本経済のあゆみ 中小企業の地位と役割 農業の現状と課題 消費者問題 労働問題 社会保障制度の充実 第2章 国民経済と国際経済 ・国際経済のしくみ ・国際協調と国際経済機関の役割 ・地域的経済統合 ・国際経済の諸問題と日本の役割 第3編 現代社会の諸問題	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関をはじめ、日本経済が抱えている問題について認識する。 国際収支の基礎的構造を理解し、日本の特徴を理解する。 為替相場のしくみを理解し、その変動の要因と国際貿易に与える影響について考察する。 戦後の国際経済における自由貿易体制成立と過程について理解し、国際経済機関の役割について理解を深める。 リージョナリズムの動向を理解し、今後の国際経済と日本経済の現状と課題について理解を深める。 政治や経済に関する基本的な理解を踏まえ、現代の政治や経済の諸課題を追求する学習を行い、望ましい解決の在り方について考察する。
学年末 考查まで		
評価方法	【関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、授業中の発表、ノート等の整理状況等で評価する。 【思考・判断・表現】 授業中の発表、ノート等の記述内容、定期考査等で評価する。 【資料活用 of 技能】 時事問題レポートや定期考査等で評価する。 【知識・理解】 小テスト、問題集、定期考査で評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	世界史B	3	英語・人文	選択	4
使用教科書・副教材等	詳説 世界史B 改訂版 (山川出版社) グローバルワイド最新世界史図表 (第一学習社) 詳説 世界史 改訂版 10分間テスト (山川出版社) 要点整理 ゼミナール世界史 (浜島書店)				
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性を広い視野から考察させることによって、歴史への興味・関心を高め、歴史的思考力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期末 考查まで	第7章 アジア諸地域の繁栄 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国民国家の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解する。 ・ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 ・ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。 ・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。 ・17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 ・ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。
二学期中 間考查まで	第12章 アジア諸地域の動揺 第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第14章 二つの世界大戦 第15章 冷戦と第三世界の独立	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。 ・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する ・ヴェルサイユ体制から第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。 ・第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・中華人民共和国の成立や朝鮮の分断、アジア諸地域の独立の過程を理解する。
二学期末 考查まで	第16章 現在の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から、日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。 ・東欧社会主義圏の消滅、ソ連邦の解体と民族紛争、グローバル経済の進展を理解する。
学年末 考查まで		全体の総括を行う。
評価 方法	【関心・意欲・態度】 授業態度・ノート整理等 【思考・判断・表現】 定期考查・発表 【資料活用の技能】 授業態度・発表 【知識・理解】 小テスト・定期考查	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
地理歴史	世界史探究	3	英語・人文	選択	2
使用教科書 ・副教材等	自校教材（本校地理歴史科） グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社） 詳説 世界史 改訂版 10分間テスト（山川出版社） 要点整理 ゼミナール世界史（浜島書店）				
学習目標	これまで学んできた世界史を世紀ごとに再編することにより、同時代史の理解を深めることにより、歴史への興味・関心が一層高まり、学習内容が定着する。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	諸地域文化圏の形成 1 オリエント 2 古代ギリシア・ローマ 3 古代インド 4 東アジア文化圏の形成と発展 5 イスラーム教世界の形成と発展 6 キリスト教世界の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史地図で各文化圏を概観する。 ・各文化圏の特徴を理解する。 ・各文化圏のつながりを理解する。 ・歴史地図で各文化圏を概観する。 ・各文化圏の特徴を理解する。 ・各文化圏のつながりを理解する。
一学期中 間考查まで	1 6世紀の世界 1 世界の一体化 2 近代ヨーロッパの成立 1 7世紀の世界 1 重商主義とヨーロッパ諸国の海外 進出 2 アジア諸国の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ・各文化圏のつながりを理解する。 ・大航海時代以降、世界の一体化への動きが進むことを理解する。
一学期期 末考查まで	1 8世紀の世界 1 ヨーロッパ近代社会の成長 2 アジア諸地域の動揺 1 9世紀の世界 1 帝国主義と列強の展開 2 アジア諸国の民族運動 2 0世紀の世界 1 二つの世界大戦 2 現代の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの資本主義形成と国民形成、アジア諸地域の動揺を理解する。 ・帝国主義諸国の動向とアジア諸国の対応を理解する。 ・世界大戦の特質を理解し、平和の意義について考察する。 ・我々が直面する現代世界の新たな課題について、学んだことを活用しながら解決策について考える。
学年末 考查まで	テーマ学習	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの流れをまとめる。
評価方法	【関心・意欲・態度】 授業態度・ノート整理等 【思考・判断・表現】 定期考查・発表 【資料活用の技能】 授業態度・発表 【知識・理解】 小テスト・定期考查	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
数学	数学探究B	3	人文・医看	選択	5
使用教科書 ・副教材等	数学探究プリント				
学習目標	数学的技能や知識を学習し、身につけさせるとともに数学への興味関心を喚起し、数学研究に取り組む姿勢を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	式と証明・複素数と方程式 1 式と計算 2 等式・不等式の証明 3 複素数と2次方程式の解 4 高次方程式 図形と方程式 1 点と直線 2 円 3 軌跡と領域 三角関数・指数関数と対数関数 1 三角関数 2 加法定理 3 指数関数 4 対数関数 ベクトル 1 平面のベクトル 2 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・整式及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。 ・高次方程式について考える技能を養う。 ・図形を解析幾何学的方法で扱えるようにし、軌跡の考え方を理解する。 ・いろいろな関数について、その特徴を理解し、応用力をつける。 ・ベクトルを用いて、図形を考える技能を養う。
一学期中間 考查まで	微分法と積分法 1 微分係数と導関数 2 関数の値の変化 3 積分法 確率分布と統計的な推測 1 確率分布 2 統計的な推測 数と式 1 式の計算 2 実数 3 1次不等式 4 集合と命題	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法と積分法の関係を理解し、グラフ、面積、体積に利用する技能を養う。 ・統計の見方や考え方を理解し、応用力を身につける。 ・いろいろな計算の技能を養い、応用できるようにする。
一学期期末 考查まで	2次関数 1 2次関数とグラフ 2 2次関数の値の変化 3 2次方程式と2次不等式 図形と計量 1 三角比 2 三角比への応用 図形の性質 データの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・最大・最小について理解し、2次方程式や2次不等式を活用する技能を養う。 ・三角比のいろいろな公式を用いて、値を求める技能を養う。 ・図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・データを整理・分析し、傾向を把握するための基礎的な知識や技能を身に付ける。
学年末 考查まで	場合の数と確率 1 場合の数 2 確率 国公立大学2次試験対策および私立大学 対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・個数の処理や確率の考え方を理解し、応用力を身に付ける。 ・入試問題を利用して、既習学習を復習する。
評価方法	【関心・意欲・態度】出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。 【数学的な見方や考え方】授業中の解答状況や発表、課題、定期考査等で判断する。 【数学的な技能】授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。 【知識・理解】授業・課題・単元テスト・定期考査等で判断する。	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	生物探究	3	英語・人文・医看	選択	2
使用教科書 副教材等	改訂 高等学校 生物基礎 (第一学習社)、自作プリント、 四訂版 リード Light 生物基礎 (数研出版)				
学習目標	既習の生物現象について、発展的な学習を通して高度な研究方法や知識を身につけさせる。また、過去の生物実験の事例研究や問題演習を通して科学的な考え方や態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期末 考查まで	序章 顕微鏡の使い方 第1編 生物と遺伝子 第2編 生物の体内環境の維持 第3編 生物の多様性と生態系	<ul style="list-style-type: none"> 生物現象に関する問題提起・仮説・検証の過程を踏むことの重要性を理解する。 生物の多様性と共通性の視点を身につけ、生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 生物と遺伝子について探究し、細胞の働きおよび DNA の構造と機能の概要を理解する。 生物の体内環境の維持について探究し、生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解する。 体内環境の維持に自律神経とホルモンが関係していることを理解する。 免疫とそれに関わる物質や細胞の働きについて理解する。 陸上には様々な植生が見られ、植生は長期的に移り変わっていくことや、様々なバイオームが成立していることを理解する。 生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを学び、生態系のバランスについての理解と生態系保全の重要性を認識する。
一学期 中間 考查まで	総合問題演習 第1編 生物と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を通して知識や理解を確認し、他の単元と関連させながら総合的な生物の学力を身につける。
一学期 末 考查まで	第2編 生物の体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を通して知識や理解を確認し、他の単元と関連させながら総合的な生物の学力を身につける。
学年 末 考查まで	第3編 生物の多様性と生態系	<ul style="list-style-type: none"> 問題演習を通して知識や理解を確認し、他の単元とも関連させながら総合的な生物の学力を身につける。
評価 方法	<p>【関心・意欲・態度】 出欠状況，授業態度，授業発表，ノート等の整理状況で評価</p> <p>【思考・判断・表現】 授業発表，観察・実験の態度，実験ノートの記述，定期考查等で評価</p> <p>【観察・実験の技能】 観察・実験の態度，実験ノートの記述，定期考查等で評価</p> <p>【知識・理解】 小テスト，定期考查，実験ノートの記述で評価</p>	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
理科	地学探究	3年	英語系、人文系、 医療看護系	選択	2
使用教科書 副教材等	地学基礎 改訂版（啓林館） スクエア最新図説地学（第一学習社） 自作プリント				
学習目標	既習の地学現象について、発展的な学習を通して知識を深め、それによって生まれる洞察力から未来を予測し変化への対応を考えることができる生徒を育成する。また、過去の地学実験の事例研究や問題演習を通して科学的な考え方や態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1部 探究活動の進め方 第2部 天文 第1章 宇宙の構造と太陽 第2章 太陽系の中の地球 第3部 固体地球 第1章 地球の姿 第2章 火山 地震	<ul style="list-style-type: none"> ・広い自然現象を対象に自然科学に関する問題提起・仮説・検証・整理の過程を踏むことの重要性を理解する。 ・宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。 ・恒星の誕生と進化を理解し、恒星の明るさと距離の関係について、問題演習を行い知識の定着を図る。 ・太陽表面の現象を黒点の移動などのデータから解析し、理解を深める。 ・プレートの分布と運動及びそれに伴う大地形の形成について理解する。 ・火山活動と地震の発生の仕組みについて理解する。また、自然の恵みと災害など、地球の環境と人間生活との関わりについて考察する。
二学期中 間考查まで	第4部 地質・地史 第1章 岩石と地層 第2章 地球環境と生物界の変遷 第5部 気象・海洋 第1章 地球の熱収支	<ul style="list-style-type: none"> ・地層が形成される仕組みと地質構造について理解し、当時の環境を推定する力を身に付ける。 ・岩石の同定や観察により、分類能力を身に付ける。 ・古生物の変遷と地球環境の変化について理解する。 ・大気の大循環と地球全体の熱収支について理解する。 ・日射量から太陽エネルギーを測定し、グラフ作成やデータ解析能力を身に付ける。
二学期末 考查まで	第6部 気象・海洋 第2章 大気と海洋の運動 第6部 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の大循環と海水の運動及びそれらによる地球規模の熱輸送について理解する。 ・気象データから気候変動や環境への影響を読み取る力を身に付ける。 ・総合問題演習を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
学年末 考查まで	第6部 総合演習	<ul style="list-style-type: none"> ・総合演習問題を通して、広い知識や科学的な考え方を身に付ける。
評価方法	【関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、授業発表、ノートなどの整理状況で評価 【思考・判断・表現】 授業発表、観察・実験の態度、ノートの記述、定期考査等で評価 【観察・実験の技能】 観察・実験の態度、実験時の記述、定期考査等で評価 【知識・理解】 小テスト、定期考査、ノートの記述で評価	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
保健体育	体育	3	全	必修	2
使用教科書・副教材等	現代高等保健体育改訂版（大修館書店）				
学習目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考査まで	<p>体づくり運動</p> <p>球技Ⅰ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」</p> <p>体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅰ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中央高校体操、体ほぐしの運動、体力を高める運動などを通して、運動の意義や方法を理解できるようにする。 集団行動の主な行動様式を身に付け、集団の約束や決まりを守って行動できるようにする。 ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする
二学期中間 考査まで	<p>ダンス 「フォークダンス（ソーラン節）」</p> <p>球技Ⅱ（下記の種目から1種目を選択） 「ハンドボール」 「サッカー」 「バスケットボール」 「テニス」 「バドミントン」「卓球」 「バレーボール」「ソフトボール」</p> <p>体育理論 「豊かなスポーツライフの設計Ⅱ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 躍動的な動きや手振り、腰を落とした動きなどの特徴をとらえて、音楽に合わせて踊ることができるようにする。 運動会に向けての目的意識や団結力を高める。 ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できるようにする。
学年末 考査まで	球技Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ゴール型、ネット型、ベースボール型、それぞれの種目の特性を理解し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にし、健康・安全を確保することができるようにする。
評価方法	<p>【関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。</p> <p>【思考・判断】 授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。</p> <p>【技能】 行動観察、スキルテストなどで評価する。</p> <p>【知識・理解】 授業中の発表、行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、ペーパーテストなどで評価する。</p>	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
芸術	美術Ⅲ	3	人文	選択	4
使用教科書 ・副教材等	美術3（光村図書）				
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わり、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考査まで	1 美術Ⅲを学ぶにあたって 2 絵画「人物を描く」 ・人体の構造 ・中心線と傾き ・空間の作り方 ・クロッキーの反復 3 絵画「風景を描く」 ・描きたい場所と意図 ・視線の設定 ・遠近法の効果 ・着彩の工夫 4 鑑賞「社会とアート」	・今後の進路を踏まえ、自己の表現方法について検討する。 ・描画材による調子の違いについて理解し、効果的な表現形式の特性を生かした表現を追求する。 ・対象を深く観察し、構造や重心を理解して表現力を身に付ける。 ・様々なパターンを反復し、技術力の向上に努める。 ・描きたい場所と作品としての狙いを定め、構図を検討する。 ・遠近感や空間の表現方法を理解し、自己が感じたその場の空気感を表現できるよう追求する。 ・色の効果、適切な表現方法を習得する。 ・アートが文化の中でどのような役割を担っているのか、様々な視点から探る。 ・地域活性化におけるアートの力を理解する。
一学期中 間考査まで	5 デザイン「視覚伝達の意義」 ・目的と意図 ・キャラクターの設定 ・伝達することの意義 ・魅力と表現力 6 デザイン「ポートフォリオ」 ・自己表現力とは ・作品の精選 ・目的とレイアウト ・作品の見せ方	・何をどのように伝えるかを吟味し、明確な意図を設定する。 ・自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさの表現を追求する。 ・キャラクターの魅力に見合った表現力を身に付ける。 ・作品の見せ方を考え、自己の作品を振り返るとともに、今後の表現方法について考えを深める。 ・自己の作品を精選し、これまでの過程が明確に伝わるような見せ方を工夫する。
一学期 期末考査 まで	7 選択制作「修了制作」 ・表現したいものとは ・自己表現と客観性 ・エスキース ・下描き ・着色 ・細部の表現 ・仕上げ	・自己表現の方法を探るとともに、表現したいものを明確にする。 ・今までの知識と技術を生かし、自己の表現方法を追求する。
学年 末考査 まで	8 鑑賞 ・現代美術の動向について ・美術との関わり方	・作者が制作を通して自己を追求したり、社会のメッセージを主張したりしていることを作品から感じ取り、それらに重ね合わせ、自己の在り方、生き方について考える。
評価 方法	【関心・意欲・態度】 出席状況や授業の態度、学習プリントの記述内容等で評価する。 【発想や構想の能力】 作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。 【創造的な技能】 作品、制作等の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。 【鑑賞の能力】 鑑賞活動の取組、学習プリントの記述、自己評価シートの記述の内容で評価する。	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
芸術	音楽Ⅲ	3	人文	選択	4
使用教科書 ・副教材等	Joy of MUSIC (教育芸術社)				
学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 末 考 査 ま で	ソルフェージュ ・発声 ・ソルフェージュ 楽典 ・音名と音部記号 ・音符と休符 ・拍子 ・音階と階名 ・調号と主音	<ul style="list-style-type: none"> ・美しい発声を目指す。 ・リズムの特徴を感じ取り、表現を工夫する。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、基礎的な読譜力を身につける。
一学期中 間 考 査 ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・音程 ・和音 西洋音楽 ・西洋音楽の用語と記号 ・オーケストラの楽器編成と楽器配置	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素を知覚し、ハーモニーの仕組みについて理解する。 ・西洋音楽の楽曲に使用される用語や記号を理解し、楽曲を表現するための知識を身につける。
二学期 期 末 考 査 ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの音楽 ・バロックの音楽 ・古典派の音楽 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の文化的・歴史的背景や作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞する力を養う。
学 年 末 考 査 ま で	<ul style="list-style-type: none"> ・ロマン派の音楽 創作 ・ファンファーレをつくろう	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付け、個性豊かに創作表現を創意工夫する
評 価 方 法	【音楽への関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、授業中の発表状況、提出物の提出状況 【音楽表現の創意工夫】 実技テスト、身体表現 【音楽表現の技能】 実技テスト、練習時の演奏 【鑑賞の能力】 感想文の記述、気づきの発表	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
外国語	コミュニケーション英語 III	3	全	必修	4
使用教科書・副教材等	MY WAY English Communication III New Edition (三省堂)				
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考查まで	Reading Skill 1 Greetings in the World Reading Skill 2 The Toughest Creatures Reading Skill 3 A Digital Detox Reading Skill 4 A Paper Architect: Shigeru Ban Reading Skill 5 [G] Laughter Therapists Reading Skill 5 [T] Secrets of Janken Reading Skill 6 [G] Wild Raccoon Dogs in Tokyo Reading Skill 6 [T] The Language Café Reading Skill 7 [G] The High Line Reading Skill 7 [T] How Fast Can Humans Run? Reading Skill 8 [G] Shortened Words in Texting Reading Skill 8 [T] Plant Factories Reading Skill 9 [G] Neighbors' Day Reading Skill 9 [T] Bicycle Sharin Reading Skill 10 [G] Thirty-Six Views of the Eiffel Tower Reading Skill 10 [T] Blue Roses Reading Skill 11 [G] Join the ABC Tennis Club! Reading Skill 11 [T] Kyoto- One-Day Tour Lesson1 Narrow Boats in Britain Lesson2 A Mayor of Machu Picchu Village	主語と述語動詞を中心に、各言語の挨拶の持つ役割を考える。 フレーズリーディングを行い、自然界への興味を深める。 代名詞に注意し、デジタルデトックスの方法や利点を考える。 未知語を推測しながら、坂茂氏の建築が被災地にとって持つ意味を考える。 パラグラフ構成に留意し、笑いと健康について考える。 パラグラフ構成に留意し、人間の心理的・身体的特徴を読み取る。 ディスコースマーカーに注意し、都市と動物の共生について考える。 ディスコースマーカーに注意し、物事を学ぶ意義を楽しみながら読む。 ディスコースマーカーに注意し、NYの廃線跡に建設されたハイライン公園について知る。 ディスコースマーカーに注意し、男子100m走の歴代記録の推移について学ぶ。 省略語への賛否の両論を整理し、自分の意見を発表する。 ディスコースマーカーに注意し、植物の生産する工場の利点と欠点を整理する。 都市における住民の交流を深める「隣人の目」を読み、コミュニケーションの大切さについて考える。 都市で広まる自転車シェアリングシステムについて環境保護を考える。 スキミングを行い、浮世絵に影響を受けた西洋芸術について読み取る。 スキミングを行い、遺伝子組み換え技術により誕生した青いバラの賛否意見を述べる。 スキャニングを行い、テニススクール広告を読み取る。 スキャニングを行い、バスツアー高校を読み取る。 英国におけるナローボートの役割変遷と、現代での人気の理由について読み取る。 時間的順序を整理しながら、ペルーのマチュピチュ村の村長になった野内与吉の生き方を読む。
一学期中間 考查まで	Lesson3 iPS Cells Lesson4 Roman Baths Lesson5 Artificial Intelligenc Lesson6 Digital Books vs. Printed Books Lesson7 Buckwheat Around the World Lesson8 A Message from Small Creatures	iPS細胞の仕組みとはたらき、可能性を的確に読み取る。 古代ローマの風呂文化を知り、日本の公衆浴場との共通点と相違点について考える。 人工知能の進化を読み、人間社会との関わりについて考える。 電子辞書と紙の辞書についての討論を読み、論の展開方法を学ぶ。 各国のソバの生産と消費について読み、他国の食文化を学ぶ ミツバチとスズメの減少から人間と自然の共生について話し合う。
二学期期末 考查まで	Lesson9 Aung San Suu Kyi Lesson10 The Wonders of Memory Lesson11 A Moment Makes a Great Difference Lesson12 Media Literacy Lesson13 Obama's Speech in Hiroshima	アウンサンスーチーさんの生き方を通じて平和について考え、意見を述べる。 記憶のメカニズムと記憶力向上の方法を学び、論理的裏付けを整理する。 現代社会における効率と速度の追求の是非を考える。 メディアリテラシーについて読み、メディアとの関わりを学ぶ。 オバマ元大統領の広島での演説内容を読み、核廃絶と平和について考える。
学年末 考查まで	Lesson14 A Variety of "Englishes" Reading1 A Special Moment in the Third Period Reading2 Rules are Rules?	現代の多様化する英語の現状について学ぶ。 日本の高校を舞台とした物語を読み、登場人物の気持ちを表現するように朗読する。 20世紀初頭のアメリカを舞台とした物語を読み、感想や教訓を書いて発表する。
評価方法	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】出席状況、授業態度、授業中の発表、ノートの整理状況等で評価する。 【外国語表現の能力】授業中の発表、ペアワーク、定期考查等で評価する。 【外国語理解の能力】授業中の発表、ペアワーク、小テスト、ノートの整理状況等で評価する。 【言語や文化についての知識・理解】授業中の態度、発表状況、小テスト、定期考查等で評価する。	

学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
数学	英語表現	3	人文・英語系	選択	2
使用教科書 ・副教材等	エスト自由英作文（エスト出版）				
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察して表現の方法を工夫しながら文の形で伝える能力を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考査まで	Part 1 Chapter 1 ～すべきか、べきでないか Chapter 2 どちらが～ですか？ Chapter 3 ～なことは何か Chapter 4 ～だとしたら、どうするか	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張を考え、賛成か反対かをはっきりさせる。 ・「主張」、「理由」、「結論」の順に自分の論を展開させる。 ・必要があれば、理由に補足を加える。 ・自分の主張を考え、書き出しを考える。 ・「譲歩」「逆接」等の手法を使う練習をする。 ・「主張」＋「理由」の形で論を始める。 ・「大切なこと①」「大切なこと②」のように列挙するパターンで展開する。 ・「自分の主張」をはっきりさせる。 ・それをサポートする理由を列挙する構成で考える。 ・「結論」へとつなげる。
二学期中 間考査まで	Chapter 5 これまで～した中で Chapter 6 ～についてあなたの考えを	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっとも印象的な経験」等を述べる。 ・「逆説」を効果的に利用する。 ・まず「主張」をはっきりと述べる。 ・譲歩・逆説を用いて、効果的に理由を引き立てる。 ・様々な主張表現について学ぶ。
二学期期 末考査まで	Chapter 7 長所と短所 Chapter 8 グラフ・図表 Chapter 9 絵の描写	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらか選ぶのではなく、「長所」と「短所」の両方を述べる。 ・グラフ・図表に頻出する語を学ぶ。 ・数量を表す語句、名詞を前から修飾する語句などについて学ぶ。 ・絵の描写だけでなく、そこから想像する物語に踏み込んで述べる。
学年末 考査まで	Chapter 10 e メール・手紙	<ul style="list-style-type: none"> ・英語でメールや手紙を書く際に必要な基本表現について学ぶ。 ・尋ねられた内容について、適切に答えることを意識する。
評価方法	<p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 出欠状況、授業態度、発表、ノートの整理で評価する。</p> <p>【外国語表現の能力】 コミュニケーション活動での発表・態度、定期考査等で評価する。</p> <p>【外国語理解の能力】 授業中の発表、ノートの記述、定期考査等で評価する。</p> <p>【言語や文化についての知識・理解】 小テスト、定期考査等で評価する。</p>	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
外国語	英語表現Ⅱ	3	全	必修	2
使用教科書 ・副教材等	EMPOWER ENGLISH EXPRESSIONⅡ (桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題 (桐原書店)				
学習目標	英語を通じ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。また、異文化理解に対する態度を育成する。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 期 末 考 査 ま で	Part2 Writing a Paragraph Lesson 1 The history of <i>kabuki</i> Lesson 2 Types of mass media Lesson 3 Similarities and differences between Japan and the U.K.	<ul style="list-style-type: none"> ・「時間の順序」を表す様々な表現を理解した上で、パラグラフを書く。 ・「分類」を表す様々な表現を理解した上で、パラグラフを書く。 ・「比較・対照」を表す様々な表現を理解した上で、パラグラフを書く。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	Lesson 4 Why don't you study abroad? Lesson 5 Should garbage collection be a paid service? Part3 Speaking Lesson 1 What did you do over the weekend?	<ul style="list-style-type: none"> ・「原因（理由）・結果」を表す様々な表現を理解した上で、パラグラフを書く。 ・「意見・主張」を表す様々な表現を理解した上で、パラグラフを書く。 ・スモールトークができるようになる。
二 学 期 期 末 考 査 ま で	Lesson 2 I have a dream. —Martin Luther King, Jr. Lesson 3 The number of Japanese students who study abroad Lesson 4 Computer learning at home or Learning at school?	<ul style="list-style-type: none"> ・レシテーション&スピーチができるようになる。 ・プレゼンテーションができるようになる。 ・ディスカッションができるようになる。
学 年 末 考 査 ま で	Lesson 5 Garbage collection should be a paid service	<ul style="list-style-type: none"> ・ディベートができるようになる。
評 価 規 準	<p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 出席状況、授業態度、授業中の発表、ノートの整理状況等で評価する。</p> <p>【外国語表現の能力】 授業中の発表、ペアワーク、グループワーク、定期考査等で評価する。</p> <p>【外国語理解の能力】 授業中の発表、ペアワーク、グループワーク、小テスト、ノートの整理状況等で評価する。</p> <p>【言語や文化についての知識・理解】 授業中の態度、発表状況、小テスト、定期考査等で評価する。</p>	

令和5年度 学習シラバス

教科	科目	履修学年	コース	履修区分	単位数
英語	時事英語	3	人文系	選択	3
使用教科書 ・副教材等	英語で読んで考える時事×SDGs Cross Bridge (株式会社文英堂) 長文と文・作・語法の18章 (株式会社啓隆社)				
学習目標	SDGsを主題としたニュース記事を元に、現代社会で起こっている問題を論じる際に用いられる英語を理解するとともに、それを活用する能力を養う。また広い視野から国際理解を深め、持続可能な社会を築く一員としての自覚を高める。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
一学期期末 考査まで	Unit 1 資源・環境	・プラスチックごみに関する条約、容器の再利用事業、傘のシェアリングサービスに関する記事を読み、プラスチックごみ問題について考える。
	Unit 2 共生	・ハイヒール反対運動、障がい者の障壁除去、パッケージデザインに関する記事を読み、誰もがストレスなく生きられる社会の在り方について考える。
	Unit 3 飢餓・食糧問題	・深刻な食糧不足、食品ロス削減、食品ロスのアプリ開発に関する記事を読み、食材の有効利用について考える。
二学期中間 考査まで	Unit 4 医療・福祉	・コロナのパンデミック、アジアの蚊によるマラリアの蔓延、日本の蚊帳が果たす役割に関する記事を読み、対策方法を考える。
	Unit 5 教育	・教育を受けられない子どもたち、アフガニスタンにカバンを送る事業、世界に広がる音楽教育に関する記事を読み、教育の意義とその重要性について考える。
	Unit 6 衛生環境	・水設備とコロナ感染リスクの関連、トイレのない国々の現状、画期的なトイレによる環境改善に関する記事を読み、衛生環境改善の重要性について考える。
二学期期末 考査まで	Unit 7 産業・技術	・ドローンによる配達計画、スーパーコンピューター、ロボットとの協働についての記事を読み、技術の発展によって広がる可能性について考える。
	Unit 8 雇用・経済成長	・男女格差の解消の重要性、新型コロナが農業に与えた影響、コーヒー生産者の安定した収入についての記事を読み、雇用と経済成長の関連性を考える。
学年末 考査まで	Unit 9 国際関係	・バングラデシュの縫製業の賃金不払い、JICAの外国人労働者支援活動、途上国におけるものづくりに関する記事を読み、先進国と途上国の連携の可能性について考える。
	Unit 10 気候変動	・昆虫の数の激減、記録的な高潮被害、古着を用いた代替航空燃料に関する記事を読み、深刻な気候変動の現状を知り、その解決方法を考える。
評価方法	【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 授業態度、発表、ノートの整理で評価する。 【外国語表現の能力】 コミュニケーション活動での発表・態度、定期考査等で評価する。 【外国語理解の能力】 授業中の発表、ノートの記述、定期考査等で評価する。 【言語や文化についての知識・理解】 小テスト、定期考査等で評価する。	